

## 第1回 第9期多治見市財政問題市民懇話会会議録（要旨）

日時 令和3年5月21日（金）10時から11時まで  
場所 多治見市役所 本庁舎5階第1会議室

<出席委員> 森岡委員、前川委員、伊藤委員、神谷委員  
<欠席委員> 山下委員  
<事務局> 桜井財政課長、小栗、山内、瀨瀬

### 1 財政課長あいさつ

### 2 自己紹介

### 3 会長及び副会長の互選

会長 森岡委員、副会長 前川委員

### 4 議題

- (1) 使用料・手数料等の見直しについて
- (2) 市民への事業費の情報提供手法について
- (3) 令和3年度当初予算の概要について
- (4) 中期財政計画について
- (5) その他

### 【主な意見等】

#### (1) 使用料・手数料等の見直しについて

委員	使用料の金額を近隣市と比較するとき、部屋面積が同程度のもの同士で比較しているのか。
事務局	施設の種別、部屋の用途及び面積が同程度のものを抽出して比較している。
委員	料金を比較するときの上限額の算出に「1.3倍」の乗数が多く使用されているが、この乗数に根拠はあるのか。
事務局	具体的な根拠はないが、激変緩和措置の割合として妥当な数値と考え、平成28年度の見直し時からこの乗数を用いている。
委員	歳入増のためには、料金の見直しと併せて施設の利用促進を図るべきと考えるがいかがか。
事務局	当市の公共施設の多くは指定管理者制度を導入。民間のノウハウを活かした施設運営により、多くの方にご利用いただいている。今後も、広報や市ホームページによる情報提供を心掛け、施設の利用促進を図っていきたい。

## (2) 市民への事業費の情報提供手法について

委員	工事看板への事業費表示は、身近な情報提供手法ではあるが、効果が薄い。一般市民に対しては、現在既に行っている広報や市ホームページの活用で十分と考える。
委員	近隣市において工事看板への事業費表示を行っていないのであれば、継続する必要はないのではないか。
事務局	いただいたご意見を参考に、より分かりやすく効果的な情報提供手法を検討していきたい。

## (3) 令和3年度当初予算の概要について

委員	新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生臨時交付金を活用した令和3年度補正予算（第1号）が約10億円措置されたが、内容はどのようなか。
事務局	約半分はワクチン接種の経費。その他に、岐阜県が実施する飲食店に対する時短営業協力金の当市負担分や、中学校特別教室の空調機整備工事、新生児特別定額給付金の事業費等がある。
委員	当初予算の款別推移を見ると、令和3年度予算における教育費が、令和2年度に比べ大きく減少している。何か要因があるのか。
事務局	令和元～2年度にかけては、小泉小学校建替事業や食育センター建設事業があったため教育費が増加していた。これら事業が一段落ついたため、教育費の予算額が従来水準に戻ったもの。
委員	財政調整基金について、本市の人口規模に相応しい適正金額はあるのか。
事務局	人口規模による指標はないが、本市の人口一人当たりの財政調整基金残高は約44,000円（令和元年度決算）で、県内21市では少ない方である。一方、基金の取り崩しによる積極的投資を勧める声もあり、一概に良し悪しを判断することはできない。

## (4) 中期財政計画について

委員	財政調整基金の取り崩しは、他の自治体でも行われており、致し方ないと考える。
----	---------------------------------------

## (5) その他

事務局	次回懇話会は年明けの開催を予定。
-----	------------------